

淀川河口と神崎川河口に挟まれた海岸は、江戸時代、京都の矢倉九右衛門により新田として干拓されたため、「矢倉海岸」と呼ばれています。

矢倉海岸に向かう途中の大野川緑陰道路の林ではスズメやムクドリ、シジュウカラのほか、この時期には、ツグミやシロハラ、ジョウビタキなどの冬鳥たちが生息しています。淀川の堤防からは、ホシハジロやスズカモ、キンクロハジロのほか、カンムリカイツブリやハジロカイツブリ、鉄塔のミサゴなども観察することができます。

厳しい寒さを乗り切るために渡って来た海辺の鳥たちの姿をじっくりと観察しましょう。

やさしい
きもち

野外活動、無理なく楽しく

採集は控えて自然はそのままに

静かに、そーっと

一本道、道からはずれないで

気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑

持って帰ろう、思い出とゴミ

近づかないで、野鳥の巣

あおぞら財団共催 淀川河口 矢倉緑地

2026年3月8日(日)



担当：あおぞら財団

橋本 俊昭

山下 保子

石川 良隆

上村 賢 (090-8653-9165)

淀川河口 矢倉緑地		2024	2025	2026年		よどがわかこう やぐらりよくち		2024	2025
		2	3	3月				2	3
		23	16	8日				23	16
		雨	くもり・雨	晴れ				あめ	くもり・あめ
天候		確認		姿	声	てんこう		かくにん	
みつけた鳥・きいた鳥						みつけたとり・きいたとり			
26	ハシビロガモ					384	カワセミ	○	
27	オカヨシガモ	○	○	○		390	コゲラ		
28	ヨシガモ					402	チョウゲンボウ		
29	ヒドリガモ	○	○	○	○	407	ハヤブサ		
30	アメリカヒドリ					425	モズ	○	○
32	カルガモ	○	○	○		435	ハシボソガラス	○	
33	マガモ					436	ハシブトガラス	○	○
34	オナガガモ	○		○		442	ヤマガラ		
35	コガモ	○	○			447	シジュウカラ	○	○
39	ホシハジロ	○	○	○		461	ツバメ	○	
43	キンクロハジロ	○	○	○		450	ヒバリ		
44	スズガモ	○	○	○		456	ヒヨドリ	○	○
55	ホオジロガモ					464	ウグイス	○	
56	ミコアイサ					501	メジロ	○	○
58	カワアイサ					507	ムクドリ	○	○
59	ウミアイサ		○	○		526	シロハラ		○
89	キジバト	○	○	○		531	ツグミ	○	○
93	アオバト	○				561	ジョウビタキ	○	○
101	オオバン	○	○	○		564	イソヒヨドリ	○	○
117	カイツブリ	○	○	○		575	スズメ	○	○
119	カンムリカイツブリ	○	○	○		585	ハクセキレイ	○	○
121	ハジロカイツブリ		○	●		586	セグロセキレイ		
128	ケリ					591	ビンズイ		
134	イカルチドリ					608	カワラヒワ	○	○
135	コチドリ		○			618	ホオジロ		
165	ハマシギ					633	アオジ		
188	イソシギ	○	○	○		637	オオジュリン		
213	ユリカモメ					553	ニシオジロビタキ		
221	ウミネコ								
222	カモメ								
226	セグロカモメ	○	○	○					
227	オオセグロカモメ								
315	カワウ	○	○	○					
328	ゴイサギ								
333	アオサギ	○	○	○					
335	ダイサギ		○	○					
337	コサギ		○	○					
343	ミサゴ	○	○	○					
353	ハイタカ					※	カワラバト(ドバト)	○	○
354	オオタカ					合 計		36	36
355	チュウヒ								
359	トビ	○	○	○					
366	ノスリ								

2026年	
3月	
8日	
はれ	
すがた	こえ
○	
○	○
○	
○	○
○	○
○	
●	
○	○
○	○
○	○
○	○
○	
33	8
33	